

仕 様 書

1. 件 名

2025 年日本国際博覧会 モビリティエクスペリエンス前 日陰パーゴラ設置等業務

2. 目 的

空飛ぶクルマの観覧者のための暑熱対策として、モビリティエクスペリエンス前に日陰パーゴラを設置する。

本業務では、モビリティエクスペリエンス前に設置する日陰パーゴラの調達（設計・制作）及び設置等を実施し、来場者の利便性及び安全性を高める施設を設置することを目的とする。

3. 契約期間

契約締結日から 2025 年 4 月 3 日

※持続可能性の確保への取り組みとして、本業務で設置した日陰パーゴラは会期終了後、博覧会協会が別途調達するプラットフォームを用いたリユースも検討されている。（リユースに関する業務は本契約外）

4. 履行場所

・大阪市此花区夢洲（2025 年日本国際博覧会会場）及び博覧会協会が指定する場所

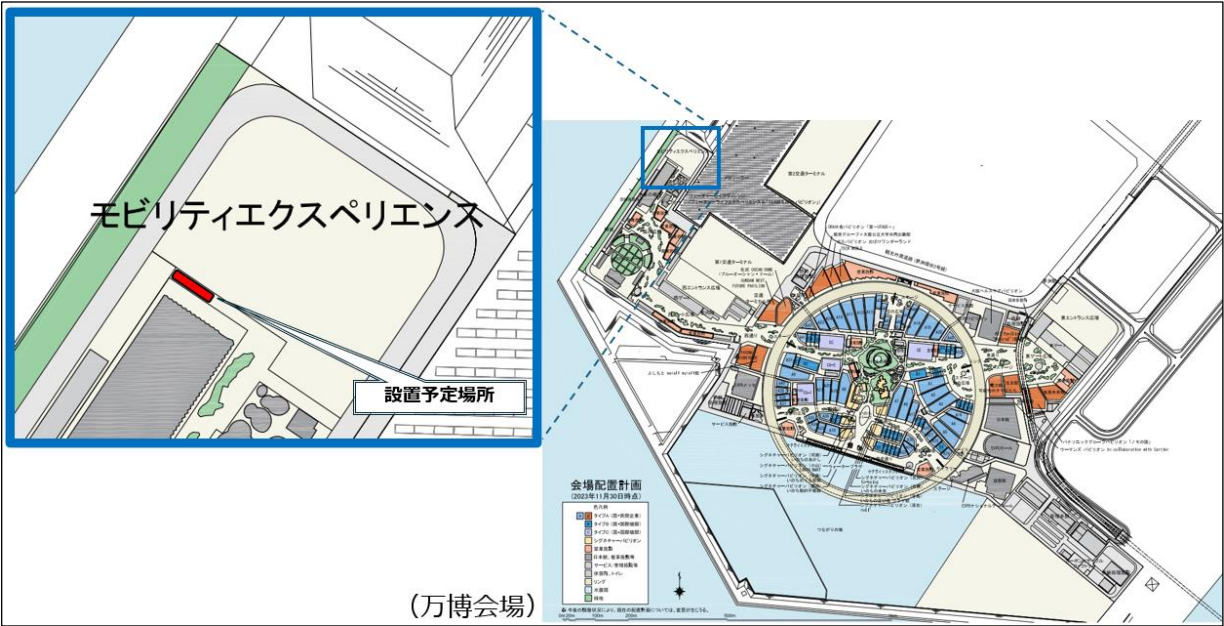
5. 用語の定義

本書の用語の定義については、以下のとおり。

No.	記載用語	用語定義
1	2025 年日本国際博覧会	2025 年に日本で開催予定の登録博覧会で、2018 年 11 月 23 日にパリで開催された博覧会国際事務局（以下「BIE」）総会において、BIE 加盟国による投票により、開催国が決定した（通称）大阪・関西万博
2	2025 年日本国際博覧会協会	2019 年 5 月 23 日に施行された「平成三十七年に開催される国際博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律」（平成 31 年法律第 18 号）に基づき、2019 年 5 月 31 日に経済産業大臣より、2025 年日本国際博覧会の準備及び運営に関する業務を適正かつ確実に行うことができると認められる法人として指定を受けた法人（正式名称）公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（通称）博覧会協会
3	来場者	大阪・関西万博会場（バーチャル万博含む。）に来場予定の者、来場した者また、来場予定がなくとも万博 ID を登録・利用する者も含む
4	会場	2025 年日本国際博覧会における夢洲の会場
5	モビリティエクスペリエンス	会場内北西部に位置する先進的なモビリティの体験エリア。次世代の空の移動手段として、空飛ぶクルマの運行を目指している
6	空飛ぶクルマ	会場内ポート運営協賛者のオリックス株式会社が会場内ポートの準備を進めている。 空飛ぶクルマの運航事業者は、会場内ポートと会場外ポートをつなぐ 2 地点間運航等の実現を目指し準備している
7	会期	2025 年日本国際博覧会における会期（2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日）
8	調達コード	大阪・関西万博の持続可能な運営を目指し、物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を実現するための基準や運用方法等を定めたもの

5. 配置計画

設置予定場所は下図のとおり（詳細は別途指示する）。



6. 作業工程

①業務期間及び各々の作業工程については、下図を参照すること。



- ②搬入と設置作業は 2025 年 2 月 1 日以降とし、2025 年 4 月 3 日までに検収が完了していること。
- ③制作の進捗状況及び会場内工事の進捗状況等により設置開始が困難な場合は、博覧会協会と協議すること。
- ④上記スケジュールを踏まえ、各業務フェーズの提案及び承認など博覧会協会に求める内容のマイルストーンを設定したうえで具体的に提示すること。

7. 業務内容

(1) 日陰パーゴラの設計・制作業務

①以下の詳細設計に基づき、本体を制作すること。

- ・株式会社コトブキ ベーシックパーゴラ 日陰タイプ「SP006B-EM-00-SB」もしくは同等品以上とすること。設計にあたっては設計図面を博覧会協会に提示し、十分な調整を行うこと。(別紙参考図面も参照すること。)
- ・日陰パーゴラはルーバーにアルミ押出型材を利用し、リユースを考慮した耐久性と上部開放ながら日陰面積を夏至の南中高度で日陰率 80%以上となる形状とすること。
- ・日陰パーゴラの設置基数は以下のとおり。

なお、日陰パーゴラは連棟で設置し、全長 23000mm 以内に納めること。

形状・寸法	数量	単位	仕様
幅 7600×奥行 2200×高さ 2542.5 (mm)	3	基	柱：φ 162.3×t3.7 鋼管 溶融亜鉛メッキ ライトブラウン（別途指定） 梁：100×50×t2.3 角鋼管 溶融亜鉛メッキ ライトブラウン（別途指定） ルーバー：アルミ押出型材 アルマイト ダークブラウン

- ・会場は臨海地区であることから高い防錆処理を行ない、美観の維持に努めること。
- ・建築確認申請が不要であること。
- ・設計風速 34m/sec 相当の風荷重を受けた場合でも、転倒・損壊しない構造とすること。
- ・SDGs の観点から、鋼材やアルミ材などリサイクルしやすい環境に配慮した素材を使用すること。
- ・日陰パーゴラの設置位置を含めた設計を行うこと。

②制作に先たち部分サンプル、塗装色見本等を作成し、博覧会協会の承認を得ること。改元箇所がある場合は、修正に対応すること。

③一般社団法人日本公園施設業協会における企業・技術者認定制度の SP-L マークの表示を行うこと。

④博覧会協会の承認を得た図面、仕様にて日陰パーゴラを制作すること。

(2) 日陰パーゴラの設置業務

①(1)で決定された日陰パーゴラの基礎設置、本体の運搬および設置する業務

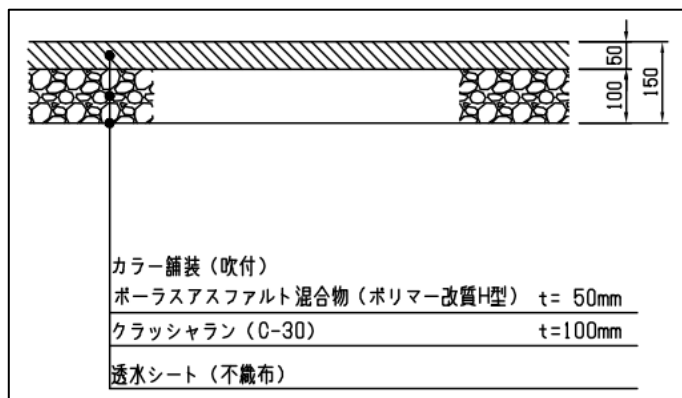
②博覧会協会の定める規定に基づき、設置をおこなうこと。なお、会場内への入退場管理規定の遵守や作業に関するほか、工区統括施工者、ランドスケープ工事受注者及び関連部局等との協議調整、諸手続きについては、本業務に含まれる。

③設置前には必ず製品としての安全性を確保し、安全な設置方法を検討すること。

- ④日陰パーゴラ 3 基を連棟で設置し、全長 23000mm 以内に納めること。
- ⑤詳細な設置場所については担当職員と現場で確認し、承認を得ること。
- ⑥設置業務に必要な道具機材は受注者が用意すること。
- ⑦運搬、組立、設置及び必要な梱包・養生等に要する費用は、すべて受注者の負担とする。
- ⑧設置に際して発生したゴミ等に関しては、受注者が処理、清掃を行うこと。
- ⑨日陰パーゴラ設置付近の舗装完了部分を車両が通行・作業する際は樹脂製敷板等で舗装面を損傷させないように養生すること。

(3) 日陰パーゴラ設置場所の舗装

- ①(2) で設置された日陰パーゴラの路面の舗装業務。
- ②詳細な舗装場所については担当職員と現場で確認し、承認を得ること（別紙参考図面に記載する舗装位置等を調整する場合があることに留意すること）。
- ③博覧会協会の定める規定に基づき、舗装を行うこと。なお、会場内への入退場管理規定の遵守や作業に関するほか、工区統括施工者、ランドスケープ工事受注者及び関連部局等との協議調整、諸手続きについては、本業務に含まれる。
- ④業務の対象範囲は、「5.配置計画」に記載する設置予定場所の約 125 m²（約 5m×約 25m）であり、詳細の場所等は別途指示する。
- ⑤業務の対象となる舗装構成は以下のとおり。
- ⑥表層は、透水性アスファルト舗装（ポーラスアスファルト混合物（ポリマー改質 H 型））、カラーあり N70（N70 は色番号）、厚さは 50mm とする。



8. 業務遂行体制の構築

- ①本業務全体を一貫して総合的にマネジメントできる業務責任者を置くこと。なお、業務責任者は履行期間中、原則変更しないこととする。
- ②博覧会協会と受注者での打合せ協議などにおいて、受注者側の窓口を一元化し指示命令系統を統率するとともに、迅速な現場対応を図り、業務責任者が不在の場合のバックアップ体制を確保すること。

9. 会議体の運営管理

- ①受注者は、業務の進行に合わせて進捗状況や技術的懸念事項の協議、調整等を行い、必要な事項を定めて実施すること。

- ②業務内容に疑義が生じた場合には、速やかに博覧会協会と協議し、その指示に従うこと。

10. 資料の貸与及び返却

博覧会協会より貸与する資料の取扱いは以下のとおり。

- ①事業の実施にあたり、貸与又は支給する図面、適用基準及びその他必要な物品等（以下「貸与品等」という。）は、本仕様書による。
- ②受注者は、貸与品等の必要がなくなった場合は、直ちに博覧会協会に返却するものとする。
- ③受注者は、貸与品等を善良な管理者の注意をもって取扱わなければならない。
- ④万一、損傷した場合には、受注者の責任と費用負担において修復するものとする。
- ⑤受注者は、設計図書に定める守秘義務が求められる資料については、これを他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。

11. 通則

①要求水準

- ・受注者は、博覧会協会の承諾した設計図書に従って設計納品すること。これらに明示されていない事項であっても、設計図等に表示される対象を完成させる上で必要になるものについては博覧会協会の指示に従い実施する。なお、設計図書により示した内容によりがたい事項については、博覧会協会と協議を行うものとする。
- ・受注者は設計図書の内容に基づき、常に安全、防災、環境、及び品質管理に留意し、関係法令等を遵守するとともに、労働基準法等に定められた使用者等の責任を果たし博覧会開催前までに本業務を行う。本業務に関する各種条件及び関連業務については本仕様書による。

②適用基準

- ・受注者は、本件の実施に当たっては、次に定める基準等（以下「適用基準等」）に基づき行うものとする。適用図書は最新年度版を使用すること。
 - * 協会より提示する各種ガイドライン
 - * 別途協会が指示したもの
- ・受注者は、適用基準等により難しい特殊な工法、材料、製品等を採用しようとする場合には、あらかじめ博覧会協会と協議し、その承諾を得なければならない。
- ・適用基準等で市販されているものについては、受注者の負担において備えるものとする。

③工程管理

・制作工程

制作着手段階に以下の内容を網羅した制作工程表を作成し、博覧会協会に提示し、確認を受けた上で進捗管理を行うこと。

- * クリティカルパスを赤線等で強調表示すること
- * 節目となる目標期日（マイルストーン）を明示すること
- * 各種申請および自主検査、製品検査、竣工検査含めた発注者検査について、検

査予定日を明示すること

・進捗報告

受注者は、納品全般的な経過を記載した制作状況報告書を作成し、博覧会協会に提出すること。制作状況報告書には、制作に際し、作成に関する記録、制作過程写真など添付すること。遅れている場合は、遅延理由とともにその対策について報告すること。

④その他

・情報管理の手法

メールなどでのやり取りのほか、データの格納などについて Microsoft Teams を利用する。運営方法の詳細などについて契約後、博覧会協会と協議をすること。

・引き渡し前の取り扱い説明

取扱説明書、備品（スペアパーツ）、付属工具、ストック部材などリストの作成を行い、維持管理業務への引継ぎを行うこと。

・各種検査

設計図書に基づき博覧会協会が実施する製品検査等を受検すること。

12. 成果物・納品物

本業務の成果物は、下表のとおりとする。

No.	成果物名	納品期限
1	プロジェクト計画書・管理要領	契約締結後、2 週間以内
2	詳細設計図書（正・副）	詳細設計確定時
3	制作工程図表（正）	工程完了時
4	業務実施報告書（正・副）	工程完了時
5	制作物 1 式（正）	搬入・移動時
6	その他、博覧会協会と受注者において、別途協議して定めたもの	-

13. 一般事項

①機密保護

- ・本業務において知り得た情報は、本業務の目的以外に使用、第三者に開示、又は漏えいしてはならない。受注者は、そのために必要な措置を講ずるものとする。なお、契約期間終了又は解除後も同様とする。
- ・本業務の遂行の過程で得られた記録等を含む納品物を博覧会協会の許可無く第三者に閲覧、複写、貸与又は譲渡してはならない。
- ・本業務の遂行のために博覧会協会が提供した資料及びデータ等は、本業務以外の目的に使用しないこと。これらの資料及びデータ等は、本業務終了までに博覧会協会に返却すること。

②その他

- ・本業務における労働災害時の労災保険の適用は、受注者の保険とすること。

- ・本業務の履行に必要な機器類、消耗品等は、特別の定めのない限り、全て受注者の負担とし、博覧会協会の資産等を使う場合は、事前に協議すること。
- ・受注者は、本業務の履行中において博覧会協会又は第三者に害を及ぼした場合、博覧会協会又は第三者に責任がある場合を除き、その責任を負うものとする。
- ・受注者は設置作業中に損害を与え法律上の損害賠償責任を負担する場合の保険金が支払われるよう賠償責任保険に加入すること。
- ・受注者は本業務で設置した日陰パーゴラ及び舗装の欠陥および瑕疵に起因し他人の身体や財物に損害を与え法律上の損害賠償責任を負担する場合の保険金が支払われるよう賠償責任保険に加入すること。
- ・検収後に、正当な理由無く要求した性能水準に達してないことが判明した場合及び設計ミス等による不良が判明した場合には、博覧会協会と協議のうえ、無償で改良すること。
- ・監督省庁等による検査が発生した場合、受注者は博覧会協会へ通知するとともに検査へ協力すること。
- ・本業務に起因又は関連する紛争又は訴訟については、抵触法の原則にかかわらず、日本国法を準拠法とし、日本国内に所在する裁判所が、当該紛争又は訴訟についての専属的裁判管轄権を有する。
- ・来場者が視認しうる資機材に表示された社名やロゴマーク・ブランド名等は、遮蔽のうえ設置すること。詳細は博覧会協会と協議のうえ決定とし、その費用は全て受注者において負担すること。
- ・本仕様に定めのない事項については、博覧会協会と協議し、その指示に従うこと。

14. その他

- ・搬入に際し、屋外ファニチャーの設置位置や設置工程等を示した設置計画書を作成し、発注者、工区統括施工者及びランドスケープ工事受注者等の関係者と十分に調整を行うこと。
- ・設置及び舗装に際し、工区統括施工者及びランドスケープ工事受注者等の関係者と十分に調整を行い、必要な基礎工事、組立施工等を実施すること。
- ・万博会場予定地はパビリオン等の建設工事中であり、建設工事に伴う施工ルールを定めた「2025 大阪・関西万博 会場全体施工ルール（施工者向け）」（以下、会場全体施工ルール）を遵守して施工を行っている。納品時等において、会場全体施工ルールを参照したうえで、搬入の日程や搬入動線など統括施工者と調整し、納品を行うこと。

2025 大阪・関西万博 会場全体施工ルール（施工者向け）

<https://www.expo2025.or.jp/association/maintenance/news-20230428-03/>

- ・博覧会協会は会場に必要な物品、サービスの提供の協賛を募集しており、多くの企業及び団体から様々な形の協賛が提案されている。物品契約締結後に企業及び団体から協賛により新たな協賛の採用が決定した場合など、数量の増減等が発生することがある。
- ・その他、本仕様書に定めのない事項で質疑が生じたときは、発注者と協議し、その指示によること。